

男鹿市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）実績報告 （令和 5 年度実績）

○ 温室効果ガス（GHG）排出量

令和 5 年度実績	7,745 t-CO ₂ -eq/年
-----------	-------------------------------

男鹿市地球温暖化対策実行計画（事務事業編）において、男鹿市の行政事務に伴う温暖化効果ガスの排出量を、2013（平成 25）年度を基準とし、2030（令和 12）年度までに「エネルギー消費に由来する温暖化効果ガス排出量を 58%削減」を目標としており、令和 1 2 年度の目標値は、2030（令和 12）年度の目標とする温室効果ガス排出量（二酸化炭素排出量）は、約 4,084 t-CO₂-eq/年となります。

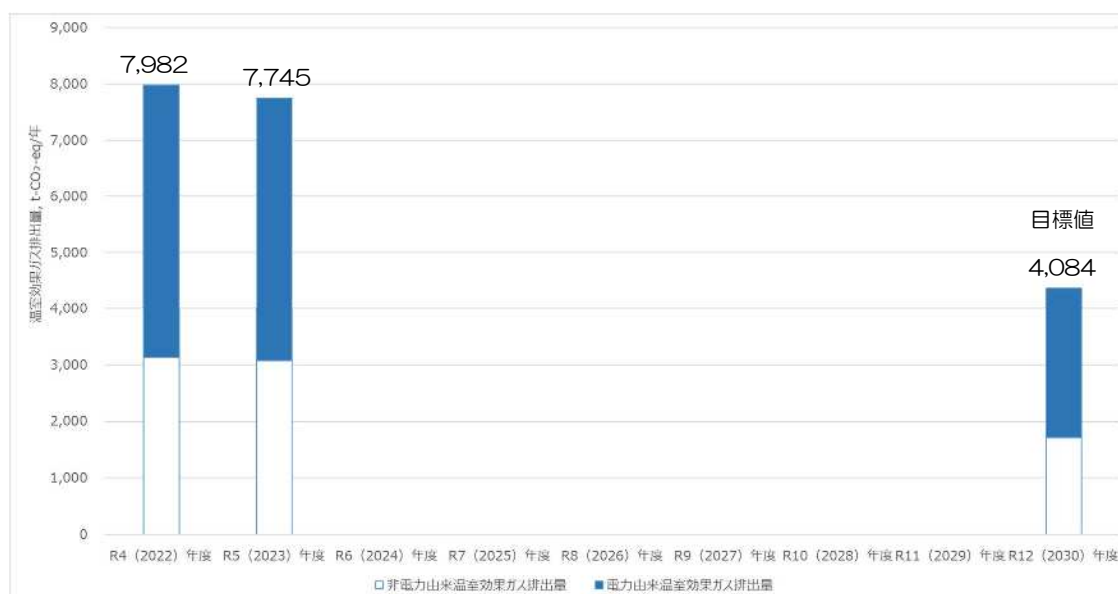
令和 5 年度の市役所全体の二酸化炭素排出量は、前年度との比較では、237 トン、3.1% の削減となりましたが、目標値までは、あと 3 千トン以上の削減が必要です。

（単位：t-CO₂-eq/年）

	2022 年 (令和 4) 調査値	2023 年 (令和 5) 調査値	前年比 削減量	削減率(%) 前年年比	目標年度 2030 年 目標値	基準年度 2013 年 推計値
排出量	7,982	7,745	▲ 237	3.1%	約 4,084	約 7,479

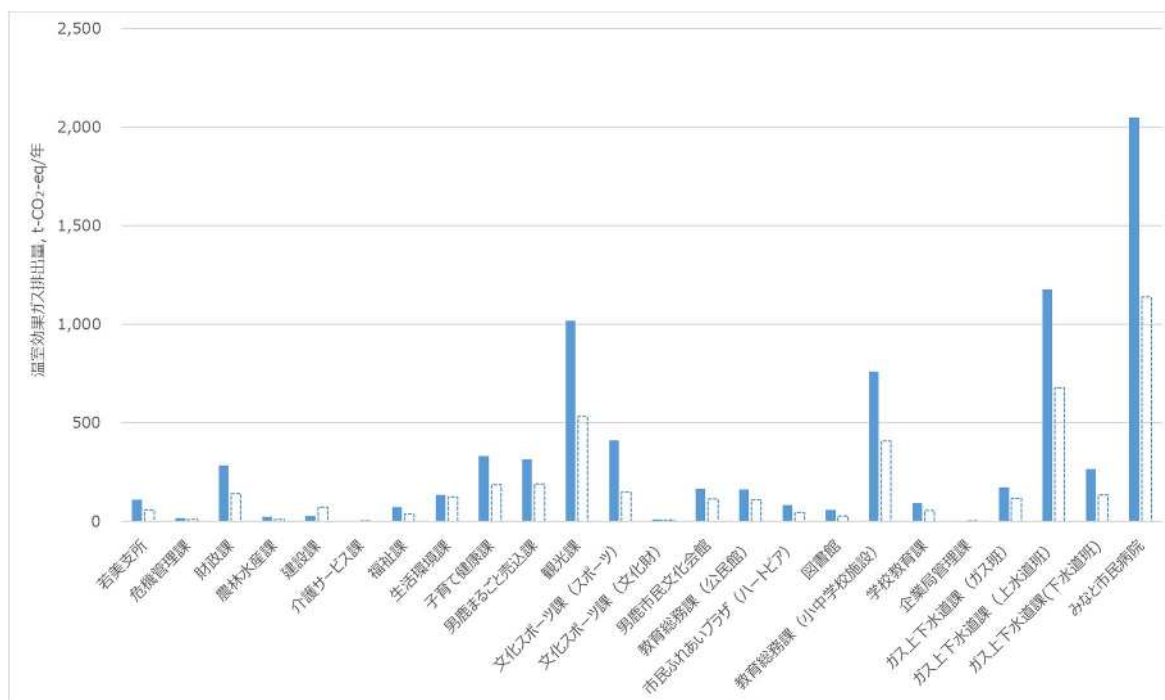
1 経年変化

GHG 総排出量（t-CO₂-eq/年）（電力由来(青)・非電力(白)）



2 各施設等の排出状況

① 各施設等の GHG 排出量 (t-CO₂-eq/年) ㊦と 2030 年度目標㊧



② 各施設等の GHG 排出量 (t-CO₂-eq/年) (電力㊨・非電力㊩)

